

電子講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生／松田公志先生講義資料

関西医科大学

令和3年12月16日(木) 15:00～16:30 対面開催

講師：河野恵美子先生(大阪医科薬科大学 一般・消化器外科)

松田公志先生(関西医科大学附属病院院長)、前川宙貴先生(弁護士)

4年生対象

127名参加

時間(所要時間)	講義の展開	参照先
15:00～(3分)	資料確認、講師紹介	
15:03～(25分) 【説明(第1部①)】	講師 河野恵美子先生(大阪医科薬科大学) 1. 自分自身のキャリア 2. 医師の働き方改革のあゆみ 3. 外科医の労働環境 4. 女性医師の現状 5. 過労死 6. なぜ働き方改革が必要なのか	P77～P90
15:28～(25分) 【説明(第1部②)】	講師 松田公志先生(関西医科大学附属病院院長) 1. 医師の時間外労働 2. 医師の働き方改革 3. チーム医療における医師の役割 4. 女性医師の活躍 5. ITの活用=スマート病院化 6. 関西医科大学の取り組み	P91～P100
15:53～(6分)	質疑応答、第1部まとめ	
15:59～(30分) 【説明(第2部)】	講師 前川宙貴先生(弁護士) ● 基本的には講義用資料に基づき内容を説明 労働者性、労働契約、労働時間、両立支援制度	P176～P188
16:29～(1分)	アンケート回答のお願い	

河野先生からワンポイントアドバイス



講義のポイントは、①医師の働き方改革の趣旨・目的、②多様な働き方が実現することによって、誰もがその能力を発揮して生き生きと働くことができる、という点を医学生に理解してもらうことです。その上で、実際に医師として活躍されてきた講師の様々な立場や経験を踏まえた「働き方」をご紹介しますと、講義内容がより身近なものと感じられ、理解を容易にするものと考えます。

医師の働き方改革

～よりよい医療を目指した未来志向の取り組み～



大阪医科薬科大学一般・消化器外科
河野 恵美子

モデル講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料

◆河野恵美子プロフィール

略歴

2001年 宮崎大学医学部卒業
佐久総合病院研修医
2002年 高知市立市民病院外科
2004年 西神戸医療センター外科
2006年 同退職 その後約1年専業主婦
2007年 大阪厚生年金病院（現JCHO大阪病院）外科医長
2016年 高槻赤十字病院消化器外科
2019年 大阪医科大学一般・消化器外科

表彰

2020年 内閣府男女共同参画局「令和2年度女性のチャレンジ賞」

資格他

日本外科学会専門医・指導医、消化器がん治療認定医
Fellow of the American Collage of Surgeon(米国外科学会フェロー)
高度医療安全管理者、看護師資格
厚生労働省労働教育委員会委員
消化器外科女性医師の活躍を応援する会副会長
日本内視鏡外科学会評議員、医工連携委員
日本臨床外科学会評議員、保険診療委員
日本消化器外科学会学術集会運営委員、近畿外科学会評議員

私の視点



なぜ働き方改革が必要なのか

医師の働き方改革のあゆみ

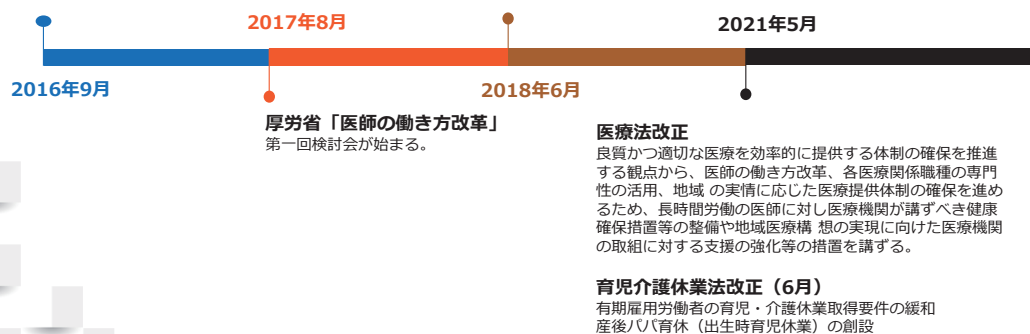
内閣府「働き方改革」

働き方改革は、一億総活躍社会実現に向けた最大のチャレンジ。正規・非正規の不合理な処遇の差、長時間労働の是正、単線型のキャリアパスといった問題を解決するために、働く人の視点に立って、労働制度の抜本改革を行い、企業文化や風土も含めて変えようとするもの。

働き方改革関連法成立

長時間労働の是正
多様で柔軟な働き方の実現
医師に関しては適用猶予5年

厚生労働省「医師の働き方改革の推進に関する検討会」が始まる。



電子講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料

24時間365日患者に
尽くすのが外科医である



仕事も家庭も大事にしたい人は外科で働くのが難しい時代であった

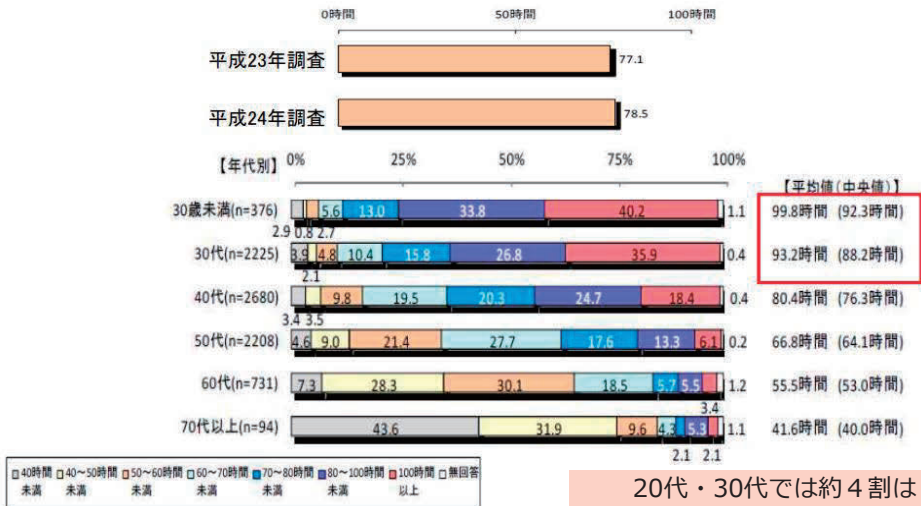
患者さんの笑顔のために…



外科医の労働時間

一週間あたり平均労働時間—平成23年、平成24年

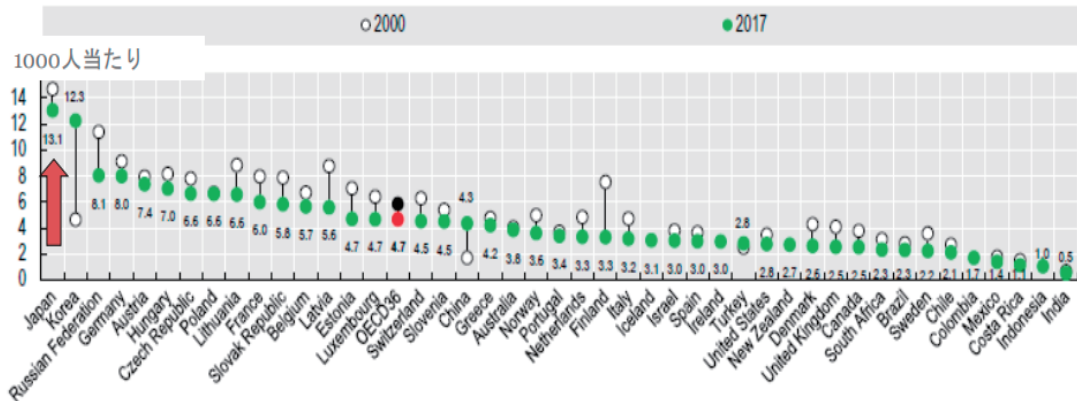
<平均>一週間あたりの労働時間数(兼業・当直を含む)



20代・30代では約4割は年3000時間超水準の時間外労働

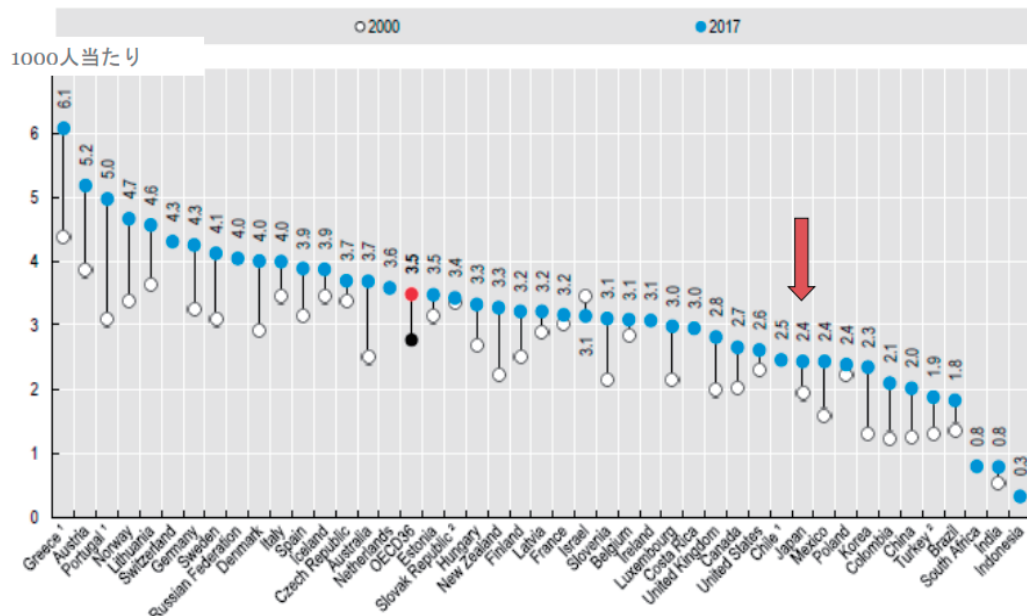
平成24年度日本外科学会会員の労働環境に関するアンケート調査

人口1000人当たりの病床数 (OECD加盟国)



出典 OECD Health Statistics 2019

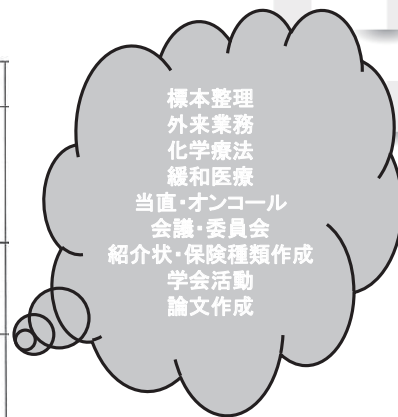
人口1000人当たりの医師数 (OECD加盟国)



出典 OECD Health Statistics 2019

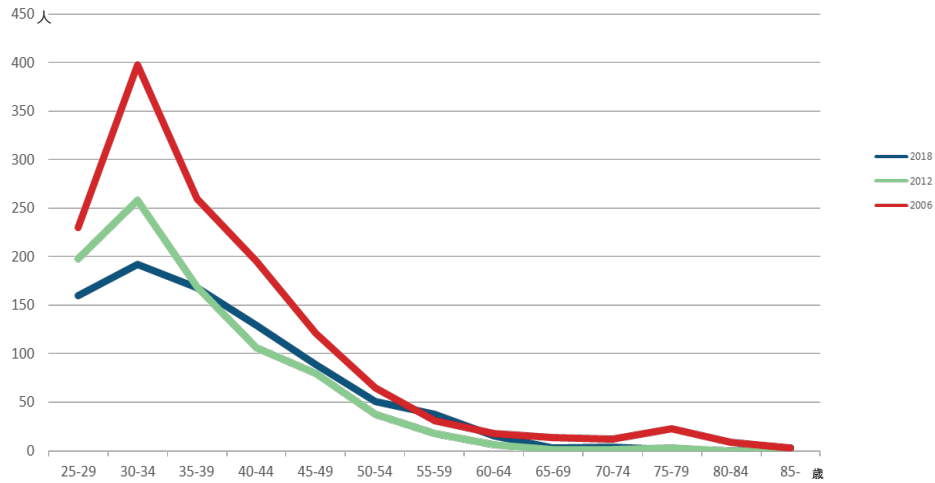
スタンフォード大学移植外科部門における分業体制

	外科医	研修医/医師補助職
術前	術前サマリの確認 手術方針の決定	術前検査のオーダー 術前サマリの作成 手術説明、同意書作成・署名
術中	執刀 手術サマリ作成	執刀までの準備 第一助手・第二助手
術後	患者・家族への説明 報告の確認 回診 病状経過報告 退院サマリの確認	術後集中治療室管理 病棟での管理、オーダー 外科医以外への相談 カルテ記入 退院サマリの作成



本田宏先生よりいただいたデータを一部改変

女性外科医の年齢別就業数



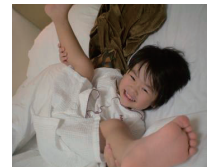
厚生労働省統計資料（医師・歯科医師・薬剤師調査 2004～2018年）より作成

1日のスケジュール（2009年・子供3歳）

起床
自宅で仕事
(手術予習など)

病院勤務
(病棟業務・外来業務
手術・術後管理など)

家事
(夕食・洗濯など)



家事
(朝食と夕食の準備)

保育園にお迎え

再出勤
(残務がある場合)

就寝

執刀日の帰宅は22:00～0:00
土日・祝は午前仕事

子育て講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料



仕事も家庭も中途半端…



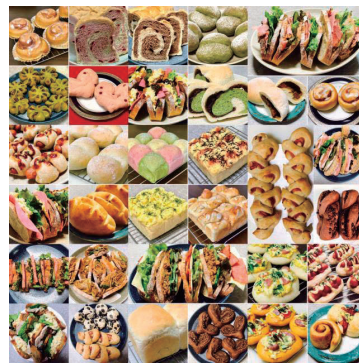
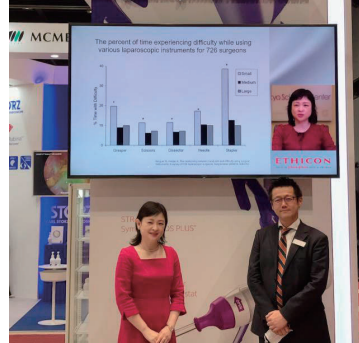
1. 学術活動
2. 女性目線の手術機器開発
3. 消化器外科領域の女性参画促進
キャリア支援
4. 次世代に向けたジェンダー教育
5. 行政との連携



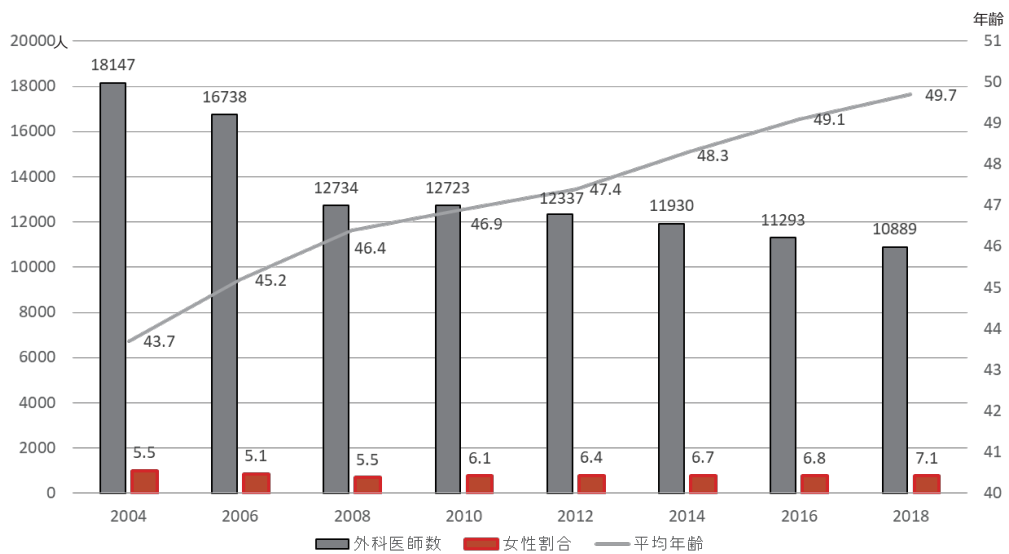
これからの人生、外科医としてどう生きるか

電子講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料



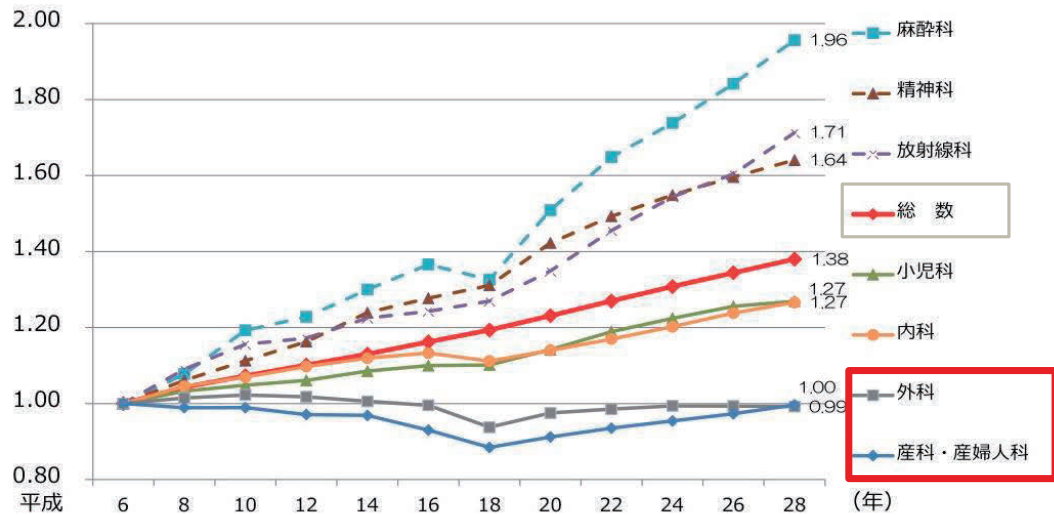
病院に従事する外科医師数 女性割合および平均年齢



厚生労働省統計資料(医師・歯科医師・薬剤師調査 2004~2018年)より作成

診療科別医師の推移

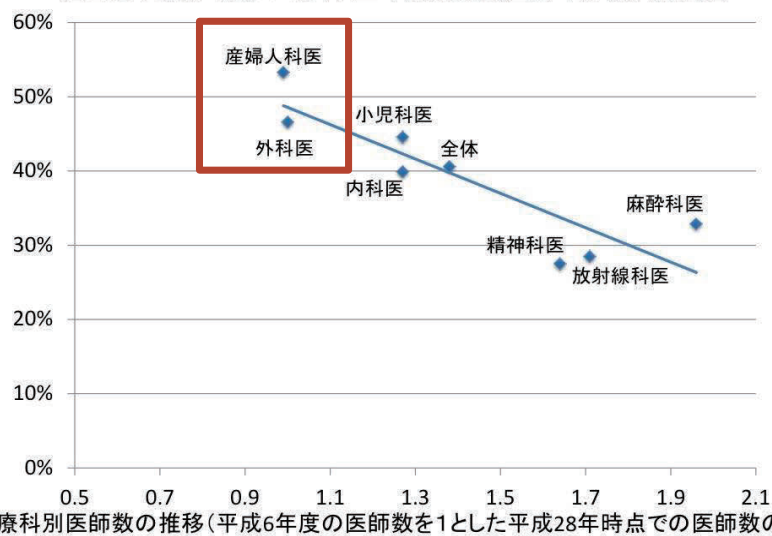
(平成6年を1.0とした場合)



厚生労働省統計資料（医師・歯科医師・薬剤師調査）

勤務時間と診療科偏在の関係性

週当たり勤務時間60時間以上の病院常勤医師の診療科別割合



※ 「週当たり勤務時間60時間以上の病院常勤医師の診療科別割合」は、「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」を活用（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」）

※ 診療科別医師数の推移は「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」の結果を基に医政局医事課で算出

厚生労働省統計資料（医師・歯科医師・薬剤師調査）

Eメール講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料



30歳未満の会員は2割が女性
男女共同参画WG設置
学会座長・プログラム委員など数値目標の公表
U40委員会
労働環境改善のためのWG設置

Dr.Nakahara



ご家族より提供

少子化と経営効率のはざままで



ご家族より提供

医療費抑制政策の結果、経営効率が悪い小児科が閉鎖されていること
診療報酬制度や構造的な不採算の状況
多数回の当直による疲労蓄積が医療ミスにつながることに
女性医師の問題が書かれていた。



間もなく21世紀を迎えます。
経済大国日本の首都で行われているあまりに
貧弱な小児医療。
不十分な人員と陳腐化した設備のもとで行わ
れている。その名残の救急・災害医療。
この閉塞感の中で私には医師という職業と
続けていく気力も体力もありません。

事務2号 共00.4 B5上55

後成病院

H2-1 100x200(15)

ご家族より提供

Eメール講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：河野恵美子先生講義資料

患者さん・医療者そして関わる全ての方の笑顔のために…



なぜいま働き方改革なのか

多職種連携

関西医科大学附属病院について チーム医療における医師の役割

附属病院長
松田公志



関西医科大学附属病院

- 病床数：751床
- 1日平均入院患者数（令和3年度）：736人
- 稼働率：98.1%
- 1日平均外来患者数（令和3年度）：2,132人



- 診療科数：46
- 集学的診断治療センター：7
 - ハートセンター、脳卒中センター、腎センター、小児医療センター、難病センター、アレルギーセンター、痛みセンター
- 職員数：総計2,518名
 - 医師：422名、看護師：900名、技術職：264、事務職：93名、臨時職員313名
 - 業務委託、派遣社員：523名



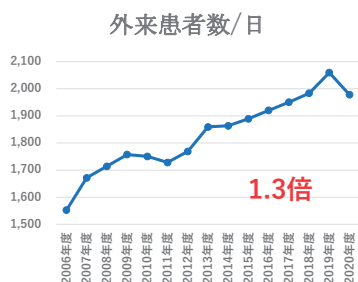
関西医科大学附属病院

- 特定機能病院
- 高度救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- がんゲノム医療連携病院
- 大阪府災害拠点病院
- 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
- 大阪府難病診療連携拠点病院
- 大阪府エイズ治療拠点病院
- 大阪府外国人患者受け入れ地域拠点医療機関



関西医大附属病院の発展

- 2006年新築開院以来、患者数、手術件数の増加



関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

働き方改革

- 日本人男性の正規雇用労働者の労働時間は世界一長い。
(2014年：働き方改革ラボ)



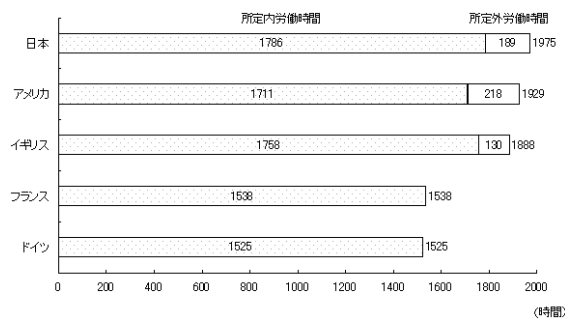
働き方改革実行計画：2017年

- 2019年から、時間外労働時間年720時間以内。



- 医師も一律に適応して、国民の健康は守れるのか？

医師には5年間の2024年まで猶予

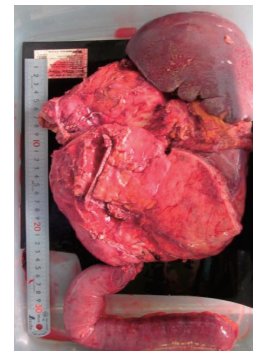
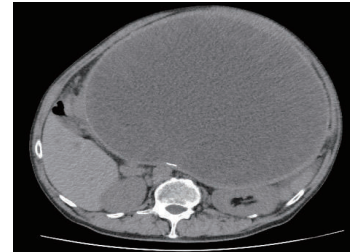


年間総労働時間の国際比較（製造業、2003年）厚生労働省

関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医師の時間外労働

業務	月間時間外労働時間
カンファレンス：8時 - 9時	23時間
夕方回診、カルテ記載毎日：17時 - 19時	46時間
手術延長	8時間
当直週1回：17時-翌朝8時	64時間
日直月1回：9時 - 17時	8時間
他病院当直月に1回	16時間
計	165時間



褐色細胞腫
手術：9時 - 24時
術後管理：2時間

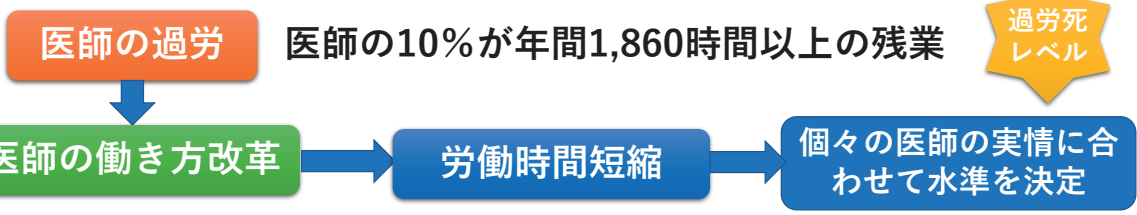
時間外労働時間：9時間



医師の働き方改革

関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医師の働き方改革



- チーム制診療導入
- 特定看護師
- 医師事務作業補助員
- 看護助手増員
- 2交代制・フレックス制
- IT化・ロボット導入

水準	年間時間外労働 (2024年)
A	960時間以内
B	地域医療を確保するために1,860時間以内
連携B	自院は960時間以内 派遣先含めて1,860時間以内
C1	研修のために1,860時間以内
C2	高度医療技術習得のために1,860時間以内

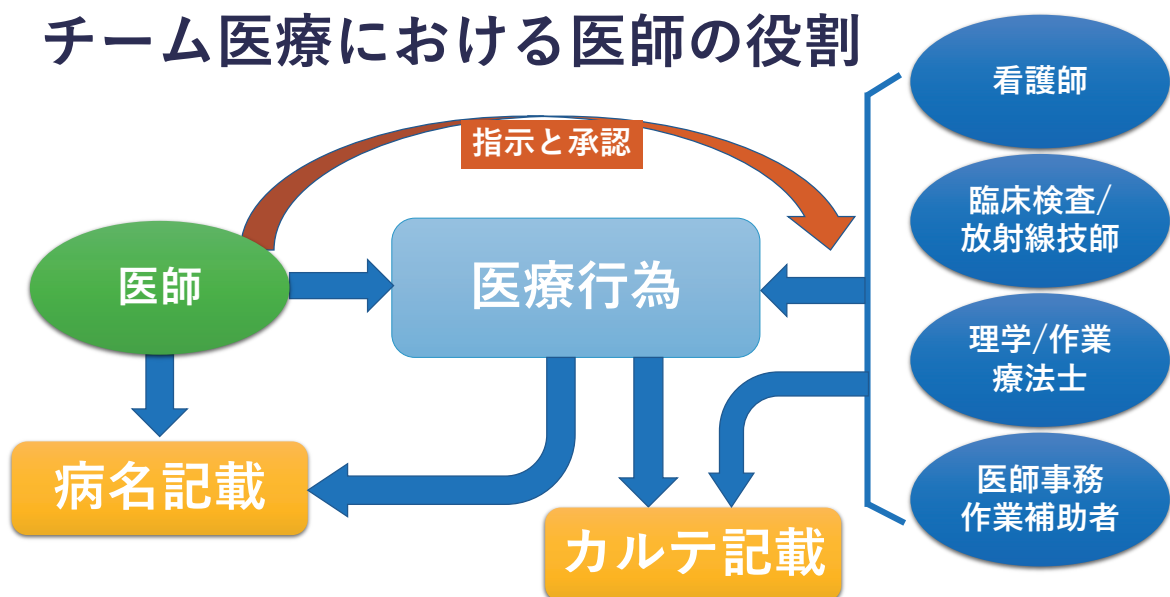
**2035年に
全員A水準
短縮計画**

関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

病院での医療：チーム医療



チーム医療における医師の役割



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

1. 医師を増やす

医学部定員臨時増：主に地域枠

附属病院医師数：422名

医師定員増：令和4年10名

一人主治医制からチームでの診療へ

- 1人で5人の患者を担当⇒3人で15人を担当
- 分担による効率化と時間外勤務短縮

女性医師の活躍

- 女性医師が仕事を継続しやすい環境を提供

 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

女性医師の活躍を目指して

短時間正職員制度

- 出産育児期間中に適した勤務を選択

ベビーシッター利用者支援

- 利用券配布

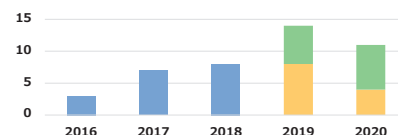
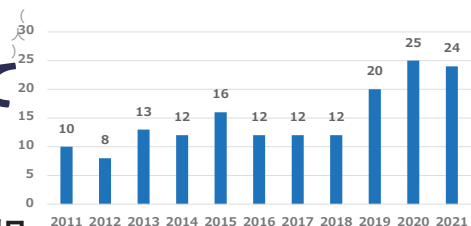
オール女性医師キャリアセンター

- 労働環境の整備、講演会、相談会

女性管理職医師増

- 女性医師の割合：全体で3割、講師以上1割

 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

2. タスクシフト

看護師

カテーテル留置
注射・点滴
投薬 etc

救命救急士

救命センター
での業務

薬剤師

投薬内容・副作用
説明

医師事務
作業補助者

カルテ記載 etc

臨床工学
技師

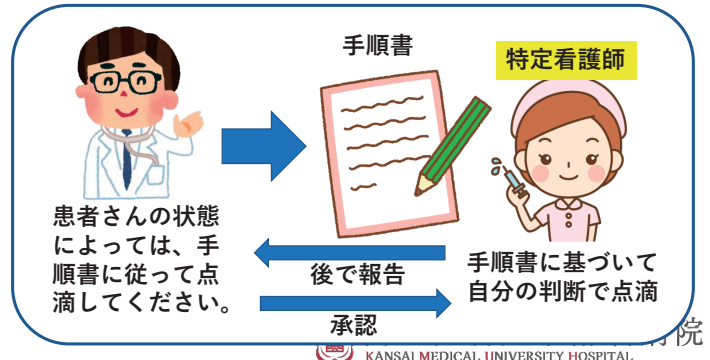
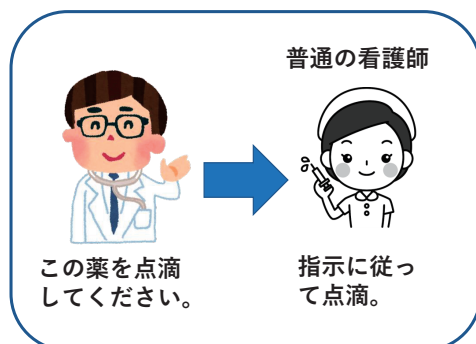
内視鏡手術の
カメラ保持

医師の直接指示のもとに

 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

看護師特定行為研修

- 1年間の教育課程
- 医学の基礎知識（e-learning 165時間）+ 医行為の演習19時間 + 臨地実習75例
- 医師の指示のもとに、**看護師の判断**で、医師があらかじめ指示した手順書に基づいて医行為を行うことができる。



関西医大附属病院の特定看護師

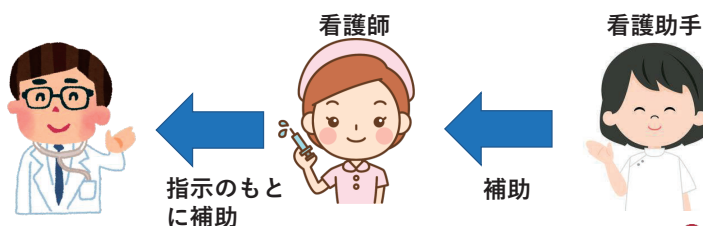
- 年間に40名の看護師を対象に特定行為研修を実施
 - 病院としては全国最大規模のひとつ
 - 術中麻酔管理領域パッケージ
 - 重症患者管理コース
- 現在36名の特定看護師が勤務
 - 全国の病院で最多

区分	特定行為区分	特定行為	重症患者管理コース	術中麻酔管理領域PG
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	○
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	○
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	○	
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	人工呼吸器からの離脱	○	○
		中心静脈カテーテルの抜去	○	
13	動脈血ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	○
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	橈骨動脈ラインの確保	○	○
		持続点滴中の高カリウム輸液の投与量の調整	○	
18	術後疼痛管理関連	脱水症状に対する輸液による補正	○	○
		硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	○
19	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	○	
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	○	
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	○
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	○	

看護助手

患者の世話および看護師の補助を行う。

- 仕事内容
 - 患者の世話：患者の移動の補助、着替え、入浴・食事・排泄介助など。
 - 看護師の補助：医療機器の片付け、洗浄など。
 - ベッドシーツ交換、検体搬送など。
- 国家資格ではない。
- 一定の数を確保することが推奨されている。



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

医師事務作業補助者＝メディカルクラーク

- ・ クラークの業務
 - ・ カルテ記載
 - ・ 検査オーダー
 - ・ コピーペーストによる処方など
- ・ クラーク統括室
 - ・ 2013年8月1日設置

	2013年 8月	2017年 7月	2021年 12月
クラーク 人数	30人	42人	67人



メディカルクラーク

 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

3. ITの活用＝スマート病院化

- ・ AIの導入
 - ・ 放射線診断、病理診断、AI問診
- ・ 内視鏡手術画像の電子カルテへの配信
- ・ 搬送ロボットの導入
 - ・ 物品搬送
 - ・ 車椅子の自動走行
- ・ 診療スマートフォン導入
 - ・ 電子カルテをスマートフォンで院外からも見える。
 - ・ 音声入力
- ・ 事務作業の自動化
 - ・ ロボット化（RPA）、クラウド化。



 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

医師働き方改革：関西医大病院の取り組み

- 医師増員
- 女性医師活躍基盤：オール女性医師キャリアセンター
- 医師の仕事のタスクシフト
 - 看護師特定行為研修の推進⇒特定看護師の活躍
 - 多数のメディカルクラーク導入
- 病院のスマート化
 - ITの力で医師の働き方改革
 - より質の高い医療を効率よく提供する仕組み

 関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



関西医科大学 モデル講義の様相